

基調講演 平成 27 年 9 月関東・東北豪雨での 外国人支援の状況について

講師：横田能洋さん（認定 NPO 法人茨城 NPO センター・コモンズ 代表理事）

昨年 9 月の豪雨により大きな被害を受けた茨城県常総市。被災した外国人住民が直面した課題やそれらに対する支援活動の実際、防災計画における外国人対応の限界などを共有します。

体験 1 警戒区域などの地理情報を活用して 避難体験しよう



大津市が公開したオープンデータを活用すると、多言語での避難誘導アプリを自由に開発することができるようになります。このセッションではそのデモアプリを実際に試用しながら、どのような仕組みがあれば他地域でも実現できるのか、検証します。

体験 2 災害・緊急避難情報の 多言語配信を体験しよう



気象庁が配信する緊急地震速報などを即時提供するシステムの多言語対応が、現在各所で検討されています。ここでは、そのシステムを活用した多言語対応の災害情報配信アプリ（エリアメールなど）をどのようにして作ることができるのか、デモ体験を行っていただきます。

ゲスト：佐々木篤志さん（株式会社 NTT ドコモ）
一般社団法人ゲートウェイ・アップ・ジャパン

体験 3 エンジニアが開発したシステムを試し、 お互いの役割でできることを考えよう



このイベントの裏側では、滋賀県内外のエンジニアが「災害多言語支援センター」で役立つシステムを開発しています。その経過を共有しあい、お互い感じたこと、またお互いの立場で出来ることをグループディスカッションで共有します。

災害時外国人サポーター制度について

滋賀県および近畿・隣接府県で大規模な災害が発生した際に、被災地等で外国人支援のための活動を行う者を登録し、災害時の迅速かつ確かな外国人支援のため活動するボランティアの登録制度を設けています。随時、メールなどで滋賀県内を始めとする災害関係の研修などのご案内をします。また、防災訓練への参加やサポーター同士の交流や意見交換なども予定しています。

このイベントは、この「災害時外国人サポーター」の登録啓発を行う趣旨で開催します。当制度の詳細は、下記ページをご覧ください。

www.s-i-a.or.jp/volunteer/saigai/saigai_v_annai_index.html

申込方法

電話、FAX、メール、Facebook で受け付けます。団体でのお申込みの場合、出席人数をお伝えください。メールか FAX で申し込む場合は、件名を「3/5 申込み」とし、お名前とご連絡先を記入のうえ、お送りください。

3月4日(金)締切

お問合せ・申込先：滋賀県観光交流局 国際室（担当：筈井・山岸）



077-528-3063（平日 8:30-17:15）



077-521-5030



ff00@pref.shiga.lg.jp



www.facebook.com/events/489988471203200

ハッカソン → www.facebook.com/events/888447154606278

災害時外国人を守る で検索

※ Facebook のみ Code for Shiga / Biwako が受付を担当します

※ お申込の際に戴いたお名前・ご連絡先は、当日受付のほか、当日の開催変更等があった場合のご連絡のみに使用いたします